

男性のライフスタイルに関する意識調査

男女共同参画社会とは、男女が社会の対等なパートナーとして、自分の意思で社会のあらゆる活動に参加することができ、喜びも責任も分かち合う社会です。男女共同参画社会を形成していくためには、男性の意識のあり方や働き方、家庭や地域に関する考え方は非常に重要です。また同時に、女性をもつ男性への意識や願望が、男性自身の意識や生き方に大きく影響を与えていると考えられます。

千葉市女性センターでは、平成21年度の事業として、「男性のライフスタイルに関する意識調査」を実施しました。この調査は、男性のライフスタイルに対する意識や仕事、家庭、地域に対する考え方等について、男女を対象に調査し、今後の施策に反映させていくことを目的としています。

| | |
|---------|---------------------------------|
| * 調査の対象 | 千葉市にお住まいの20歳以上の男女各1,500人（無作為抽出） |
| * 調査の方法 | 郵送による配布・回収方式 |
| * 調査の期間 | 平成21年9月10日～平成21年9月25日 |
| * 回収の状況 | 有効回答数：1,026件（有効回答率：34.2%） |

注1) %は小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記しているため、%の合計が100%にならないことがあります。

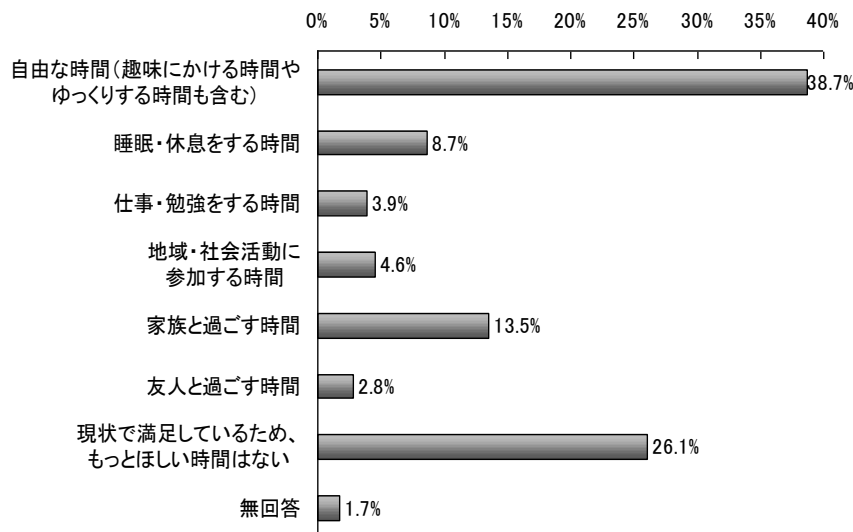
注2) グラフは、内容に応じて、抜粋したものを掲載しています。

1. 男性の家庭や地域での生活について

■ 男性が普段の生活のなかでもっとほしいと感じている時間

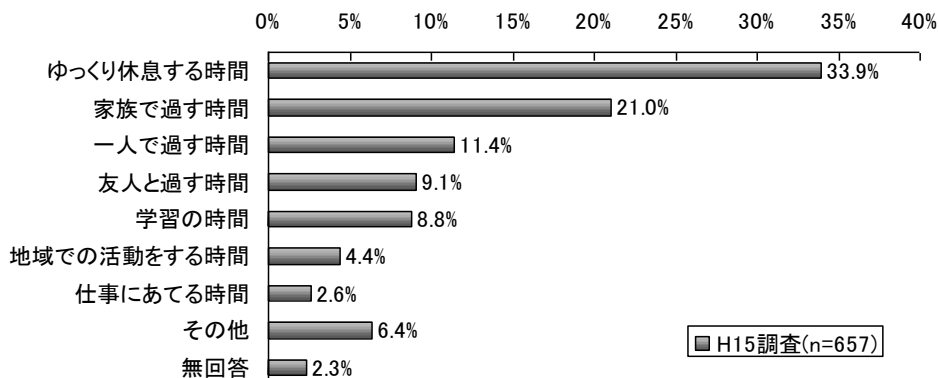
男性が普段の生活のなかでもっとほしいと感じている時間は、「自由な時間（趣味にかける時間やゆっくりする時間も含む）」が38.7%と最も高くなっています。 【図表1参照】

図表1 男性が普段の生活のなかでもっとほしいと感じている時間（男性のみ n=460）



【参考資料】千葉市女性センター 『男性の生活と仕事に関する意識調査』（平成15年度）

Q. あなたは、普段の生活のなかで、どのような時間がもっとほしいと一番感じておられますか。次のなかから、あてはまる番号を1つ選んで○をつけて下さい。



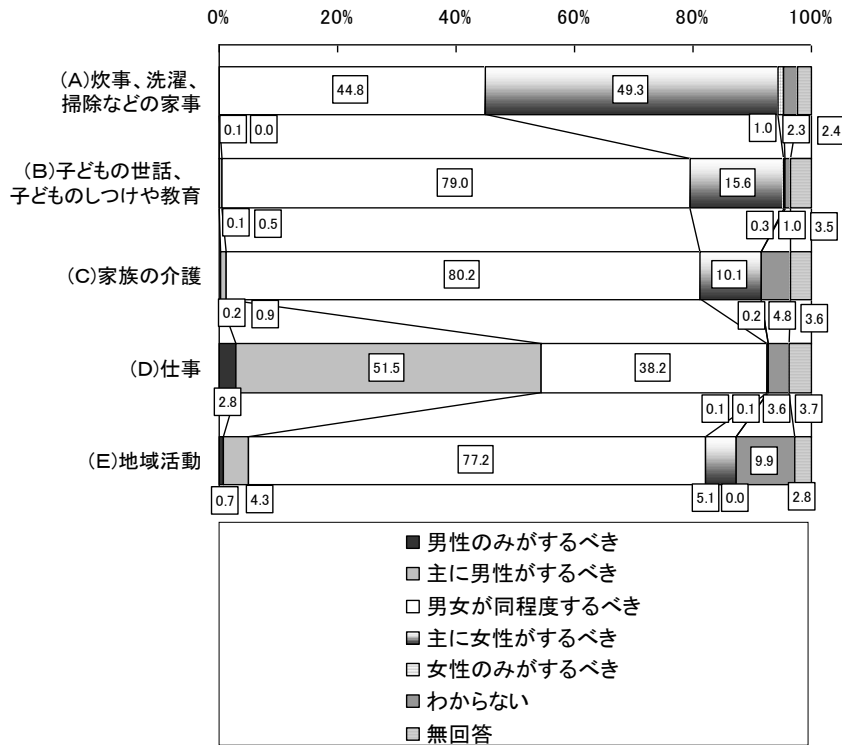
調査対象：千葉市在住の満25歳以上65歳未満の男性3,000人（無作為抽出）

■家庭、仕事、地域活動における男女の関わり方について

希望では、「炊事、洗濯、掃除などの家事」については、「女性のみがすべき」および「主に女性がすべき」との回答が 50.3%と多くなっています。「仕事」については、「男性のみがすべき」および「主に男性がすべき」との回答が 54.3%と多くなっています。「子どもの世話、子どものしつけや教育」や「家族の介護」および「地域活動」については、「男女が同程度すべき」との回答が多くなっています。

【図表 2 参照】

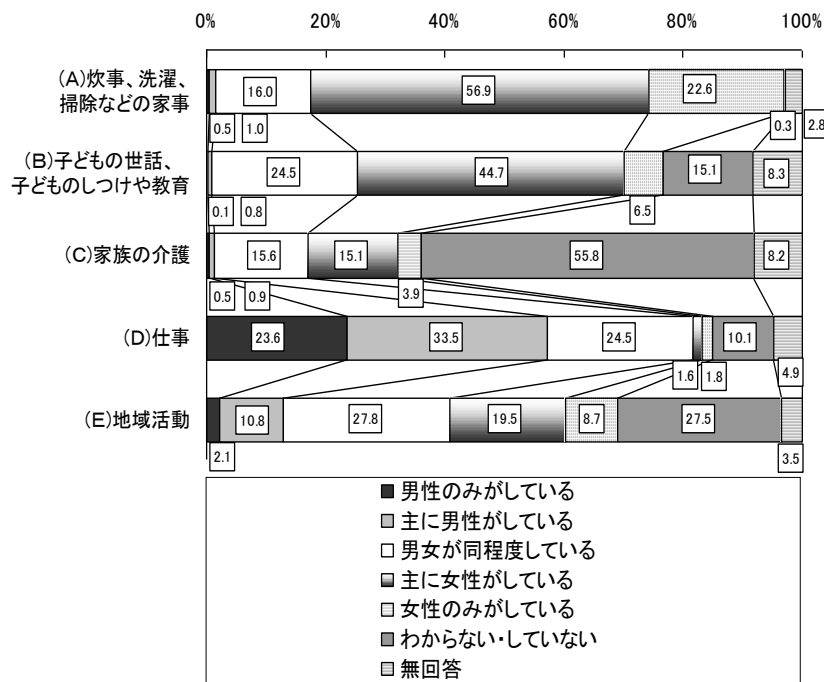
図表2 家庭、仕事、地域活動における男女の関わり方＜希望＞（全体、n=1,026）



現状では、「炊事、洗濯、掃除などの家事」、「子どもの世話、子どものしつけや教育」は、「女性のみがしている」および「主に女性がしている」と回答した割合が高くなっています。「仕事」は、「男性のみがしている」および「主に男性がしている」と回答した割合が高くなっています。「地域活動」は、「男女が同程度している」と回答した割合が高くなっています。

【図表 3 参照】

図表3 家庭、仕事、地域活動における男女の関わり方＜現状＞（既婚の方のみn=795）

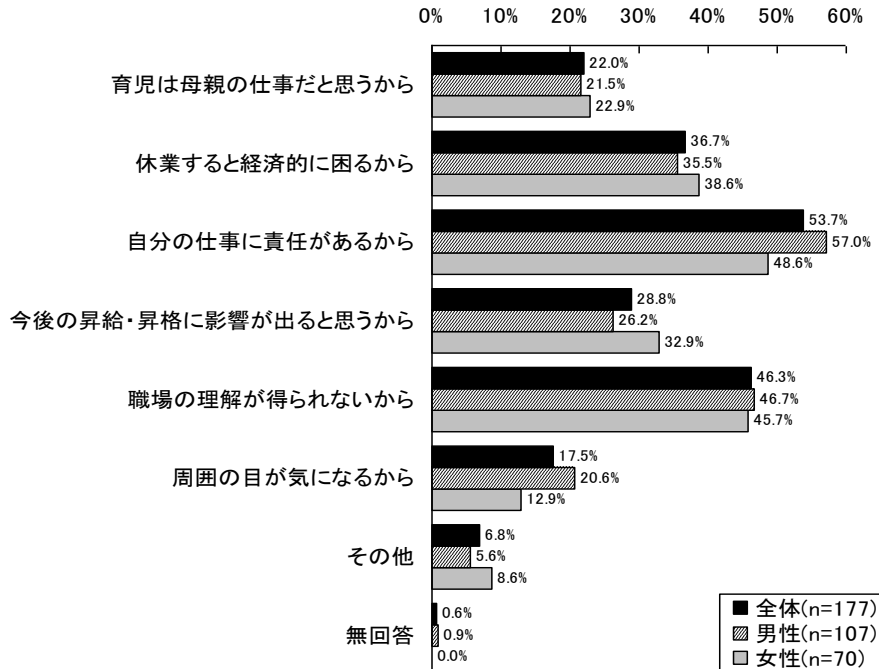


2. 男性が家事、育児、介護、地域活動を行うことについて

■男性が育児休業を取ることにについて

男性が育児休業を取りたくない、または取らない方がよいと思う理由は、「自分の仕事に責任があるから」(53.7%)と最も割合が高くなっています。続いて、「職場の理解が得られないから」(46.3%)、「休業すると経済的に困るから」(36.7%)となっています。【図表4参照】

図表4 男性が育児休業を取りたくない、または取らない方がよいと思う理由(全体、性別)



3. 男性が家事、子育て、地域活動等に参画するために必要だと思うことについて

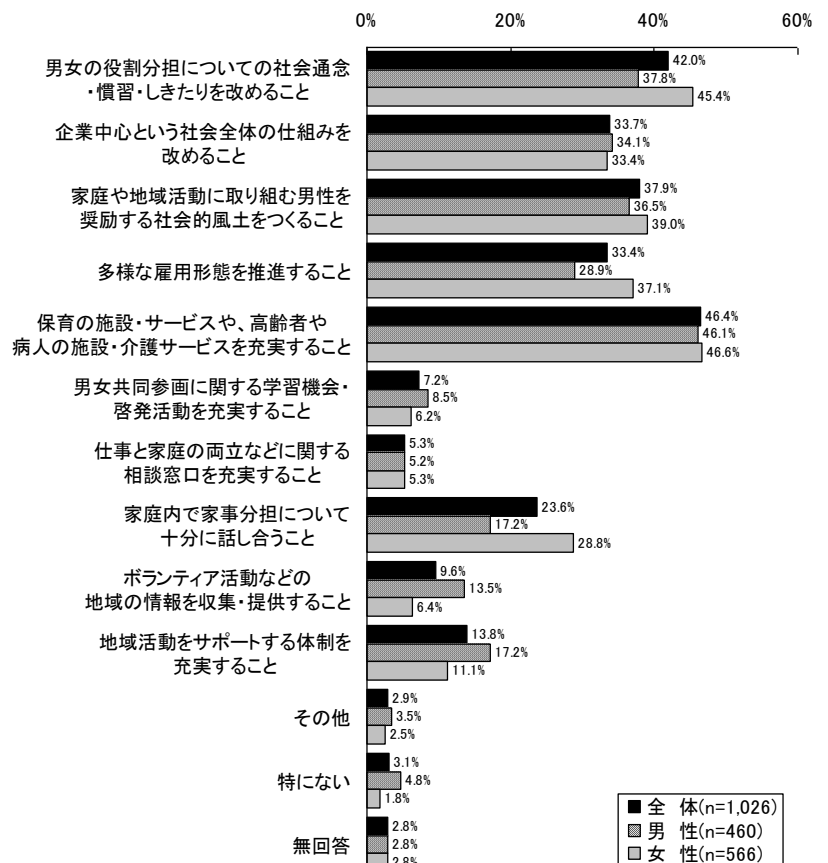
■男性が家事、育児、介護、地域活動等に積極的に参画するために必要なこと

男性が家事、育児、介護、地域活動等に積極的に参画していくために必要なことは、「保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設・介護サービスを充実すること」(46.4%)が最も高くなっています。

続いて、「男女の役割分担についての社会通念・慣習・しきたりを改めること」(42.0%)、「家庭や地域活動に取り組む男性を奨励する社会的風土をつくること」(37.9%)となっています。

男女ともに「保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設・介護サービスを充実すること」と回答した割合が最も高く、男性が46.1%、女性が46.6%となっています。【図表5参照】

図表5 男性が家事、育児、介護、地域活動等に積極的に参画するために必要なこと(全体、性別)



今後に向けて

仕事と家庭生活等の両立を支援する職場づくり

男女一人ひとりが自分らしいライフスタイルを実現するためには、仕事と家庭生活や地域活動などと両立しやすい職場環境が必要です。

本調査の結果から、「休業すると経済的に困るから」や「職場の理解が得られないから」などを理由に、育児・介護休業を取得しづらい環境があることがうかがえます。「保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設・介護サービスを充実すること」など、育児や介護をしながら働くことができるよう、多様な働き方を可能にする雇用環境の整備や情報提供などの支援が望まれます。

男女がともに担う家庭生活づくり

家庭生活を営む上で、家事や育児、介護などは、男女がともに家族の一員として果たすべき大切な役割です。しかし、現状では、これらの役割の多くを女性が担っていることがわかりました。本調査において、家庭、仕事、地域活動における男女の関わり方についてたずねたところ、「家事」「子どもの世話」「家族の介護」において、希望では「男女が同程度するべき」との回答が多いのに対して、現状では「主に女性がしている」という回答が多くなっています。家庭における男女の共同参画意識を醸成するために、学習啓発の機会を充実させ、家事や介護への男性の参加を促す支援が必要です。

家庭生活と職場や地域の活動等を円滑に行うための支援

家庭生活では、男女がともに家族の一員として、家事や育児、介護などの役割を果たしていく事が大切ですが、現状では、その多くを女性が担っています。また、男女ともに時間がないことや情報不足などから、地域活動に参加しづらい環境にあり、地域社会との関係が希薄になっていることが課題となっています。仕事と家庭生活、地域社会などが調和した生活を実現できるよう、一人ひとりが家事や育児、介護など家庭生活における役割を果たすとともに、地域活動等に参画しやすい環境づくりを行うための支援が必要です。

発行日：平成 22 年 3 月

発行：千葉市市民局生活文化部男女共同参画課

千葉市女性センター 電話 (043) 209-8771

※なお、本調査報告書は千葉市女性センター及び市内図書館にありますので、詳しくはそちらをご覧ください。